

幼児教育においても、ICTを活用する必要性が高まっています。コロナ禍で、他園との直接交流が難しい中、オンラインで交流を進めた事例があります。

各国の取組より おもご幼稚園・仕七川幼稚園・柳谷幼稚園の実践

他園との交流のねらい

自園以外の幼児と関わり、多様な遊びを知ったり伝え合ったりすることで、社会性や豊かな人間性の育成を図る

コロナ禍でも、交流回数を確保したい・・・

3園がタブレットとテレビを接続し、
ZOOMを使ってオンライン交流をしました！



①「はじめましてオンライン」各園の一人一人が自己紹介



ぼくの名前は、〇〇です！

自分や友達の顔が
テレビに映って
うれしそう・・・！

初めての顔合わせとして、オンラインによる自己紹介をしました。



②「おはよう！オンライン」朝の交流

園や自分のことを話す
時間を設定しました。

おはよう！



昨日は、これを作ったんだよ

今日は、〇〇するよ。

③「オンライン七夕会」笹飾りや短冊の願い事を紹介



かわいい七夕飾りだね

作るの難しかった？

今度、教えてね

笹飾りを見合ったり、一人一人が願い事を伝えたりしました。また、1園の教諭が読む紙芝居を、3園の子供全員が楽しみ、感想を話し合いました。

7月中旬に、直接交流する保育を実施したところ、初めて会う友達にも親しみをもって関わる様子が見られました。